

ゴルフ場、尼子駅広場、加工センター、北海製罐… 利権疑惑のウミを出し切って

8日開会した議会は、9日休会をはさんで10日、尼子駅ミニティールハウス設置条例などを全て原案通り可決し閉会。町民税の均等割りを2千円から3千円に引き上げ、配偶者控除の改善など町民に負担増を押し付ける税条例の「改正」など、自民党政治の悪政をそのまま町政に持ち込む議案などを承認しました。

6月議会を終えて・・・

はじめに北海製罐用地

疑惑を取り上げる

町議会議員 西澤のぶあき

私は、尼子駅ミニティールハウス設置条例が近江鉄道の責務や負担が何ら明記されていないことや通勤通学の朝夕の肝心な時間帯にシャッターが閉まっていること、駅舎とホームが離れている構造上の欠陥などの改善を求め、条例の出し直しを求めました。

町民の負担に直結する国保税条例の改正審議で、私の「この改正による影響はどのような内容になるか」との質問に、「可決してから調べます」と税務課長が答弁したため、町民に負担を求めるのに試算をしていないことは問題だと批判。調査のため、議長が休憩を宣言する場面も。16年度一般会計の補正予算は、くらし福祉応援型に切り替えることを求め反対しました。補正予算の委員会付託が議会運営委員会で決定されましたが、本会議では委員会付託が否決。新規条例制定も委員会の付託なく、付託に反対した議員は議会の機能を縮小。

私は一般質問で、北海製罐の広大な用地を集めた疑惑を、調査に基づき「工場誘致をめぐって、町ぐるみである企業の土地転がし」に協力したと言われている疑惑に対する見解。政治的道義的責任はどうか。町が関与した事業の内容、公共用地取得にたいするルール、基準はいかにあるべきか」とただし、町が関与した事業で、特定人物の利益優遇は明らかだと追求。山本町長は「疑惑のようなことはしていません」と答えましたが、土地改良事業で、Y氏が破格の利権を受けた事実を否定することはできませんでした。

他の質問など順次お知らせします。また、町有地の無断使用を指摘した大町議員の質問に答えて、呉竹同様に無償で貸していることが判明。「同促」いいなりの姿勢がまた明らかになりました。8日には近江八幡市で、「同和研修こそ人権の中心」と叫んでいた「解同」幹部の西兄弟が、市の入札からむね喝容疑で逮捕との報道。歴史は確実に前に進んでいることを実感しました。

加工育苗センター問題 くらしの国会へ

さる6月3日、加工・育苗センターと農協のあり方を考える会の代表は、吉井英勝衆議院議員と共に加工・育苗センターについての諸問題に関し財務省、農水省に要請しました。

財務省は国税庁課税部課税総括課の課長補佐猪野茂氏など3氏が対応。同センターの脱税と、組合有志の指摘で税を払った事実を承知かとの問いに、個別の事例は守秘義務のため話せない、としながら「報道については注視している」と回答。吉井議員は「98年以前は、同和を理由に目こぼししてきたことになる。ハンナンの不正が暴かれ、いずれ脱税問題にメスを入れねばならない。仕組みも、50億、60億と金額でも巨大。それと比べて小さな加工センター問題にメスが入れられずに、しっかり課税しているとは言えない」と厳しく指摘しました。

農水省は経営局構造改善課の課長補佐杉原裕幸氏ら3名が対応。吉井議員は補助金適正化法も会計検査院の検査対象になるはずだが、との問いに「調べておきます」と回答。NPOへの移行で一時期違法状態があったことを認めました。

要請には森茂樹県会議員と西澤伸明議員も同行し、「同和」を口実とした不正を正せと要請しました。



甲良民報

NO247 2004年6月13日

発行：日本共産党甲良町支部

支部長 西澤伸明 在士 463

Tel・Fax：38-4949

日本共産党のホームページ

<http://www.icp.or.jp>

【月3回発行：月初めか月末原則休刊】